

ハリケーン・Ida がカテゴリー4 で米ルイジアナ州に上陸

現地時間 8 月 29 日(日)、5 段階中 2 番目に強い「カテゴリー4」の勢力に発達したハリケーン Ida(アイダ)が米国ルイジアナ州南部のフォーチョン港付近に上陸しました。多くの建物などの損壊や 100 万戸以上の停電が発生した他、沿岸部を中心に高潮被害が出ています。港湾の閉鎖もあり、物流への影響についてお伝えします。

1. ハリケーン Ida の概要

現地時間 29 日(日)、アイダはルイジアナ州最大都市ニューオーリンズに、中心気圧 930hpa、最大風速 67m/s で上陸しました。メキシコ湾の高い海面温度により急速な発達をもたらした結果、2005 年に甚大な被害をもたらしたハリケーン Katrina(カトリーナ)以来、このエリアで最大規模でのハリケーンとなりました。同エリアは大規模な製油所や化学プラントが密集しており、ハリケーンの襲来に備えて操業停止措置が取られ、州知事からも最大級の警戒を呼び掛けていました。なお、8 月 29 日は奇しくもハリケーン・カトリーナ上陸と同じ日となります。



浸水したルイジアナ州の工場 (ロイター/アフロ)

アイダはその後熱帯暴風雨になったことが確認されています。この後、急速に勢力を弱め、現地時間 30 日夜までに熱帯低気圧になる見込みです。

2. 被害状況・物流への影響

ハリケーンカトリーナ以来、146 億円をかけて堤防や排水設備を強化してきたものの、一部ではそれを超える水位があった模様です。強風を伴う大雨により家屋の倒壊・倒木が相次ぎ、100 万戸以上で停電の影響を受けました。

当社現地法人を通じて現地サーベイヤーに確認した情報では、ニューオーリンズ港は火曜日までは閉鎖が決まっており、状況次第で延長もありえます。一方、広範囲な洪水および倒木により、内陸輸送も停止している状況です。

また防犯上の理由等により外出規制がかけられているため、港湾やその他エリアの被害状況の全容把握には時間を要する可能性が高いとのこと。メディアでは沿岸部を中心に浸水している様子や、ハリケーンが通過したエリアでの暴風による建物の損傷やがれきが飛ばされたりした被害の様子が報道されており、詳細が待たれます。

【グローバルネットワーク】

今回のハリケーンに関わる事故が発生した場合は、下記サービスネットワーク、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

TM Claims Service, Inc. (New York)

499 Washington Blvd., Suite 1500, Jersey City,
NJ 07310, U.S.A.

Tel:(212)297-6700 Fax:(212)297-6968

代表アドレス: cargo@tmclaimsservice.com

TM Claims Service, Inc. (Los Angeles)

800 East Colorado Boulevard Pasadena,
California 91101, U.S.A.

Tel:(888)868-1870 Fax:(626)796-5232

代表アドレス: cargo@tmclaimsservice.com



【出典】NOAA <https://www.ncdc.noaa.gov/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリンピククス バックナンバー